

【島根県立松江工業高等学校】

ある生徒の「ものづくりキャリア・パスポート」

1年次

自己分析と目標設定

今の自分となりたい自分

今の自分を4つの視点からみつめる

①かかわる力

③やりぬき自分を伸ばす力

【自己分析】
・困難な状況の時に勝手に自分でできないと決めつけて諦める部分がいけない
・将来なりたい仕事をするために努力をしていない

②自分と相手をみつめる力

【自己分析】
・相手と話している時に、相手の目を見ず、姿勢が悪い状態で話を聞いている時がある
・自分のやりたいことには熱心にできている

④自分を創り目標に近づける力

2年次の目標設定

これからどんな力を身につけたいか

【目標設定】

・自分の苦手な教科を少しでも得意に近づけられるように、その教科の面白さを見つけて好きになれるようにしたい
・電気関係についての知識を多く身につけて将来に活かしたい
・もっと人と話してコミュニケーション能力を深めたい。特に目上の方とお話を敬語を上手に使えるようにしたい
・来年の今頃には敬語をうまく使えるようになって資格取得をしたり、今年よりもっと安全に実習を行っていられたようになっていたい
・すべてを最後まで失敗でもやりとげるようにしたい

振り返り

以前の自分と比べできるようになったこと

・授業で発言することや積極的に授業に参加することを心がけてきた。また、話し合い活動では積極的に話すことを努力した(1学期)
・勉強を毎日短い時間でも取り組むということ。毎日の授業の復習をしたり、少しでも教材に触れたことで記憶でき、テストで結果を残せた。毎日頑張った成果が出て嬉しかった(2学期)
・テスト勉強で苦手な暗記教科を眠たくても目標とする範囲まで覚えたり、部活で試合が負けそうでも諦めない、諦めない力がついたのではないかと思います(学年末)



【ものづくりキャリアを振り返ってみよう】

・中学校の頃、はんだ付けをうまく行うことができなかったけれど、仕方を教わり得意になった。切り替えスイッチの使い方を完璧にしようと頑張っている(1学期)
・電線の絶縁被覆をとるときに銅線を傷つけてしまったことや電気回路の理屈を理解できるようにするのに時間がかかることが課題。簡単な回路を作れたこと(2学期)
・安全第一で安全に実習をすることを心掛けた。また、事故の体験をさせていただいたときに、より実習を安全に行わないといけないと感じました。特に声掛けを確実に行っていきたいと思います(学年末)

2年次

自己分析と目標設定

今の自分

現在の自分が力をつけたいと思う要素を2つ選び、現在の状況を俯瞰してみる

①人間形成・社会形成能力

協働力

規律性

【自己分析】
ルールは分かっているけれど面倒くさがる時があって、その時ルールを守って生活することができない

③課題対応能力

課題発見力

計画実行力

②自己理解・自己管理能力

発信力

傾聴力

④キャリアプランニング能力

主体性

創造力

【自己分析】
考えて生活してなく、実習や授業で学んだことを将来に活かすなど考えず、その場しのぎで物事を進めている

振り返り

以前の自分と比べできるようになったこと

・授業を次の日に教科書やノートを見て思い出したり、できるように、教科書やノートにメモをした(1学期)
・授業に対して積極的に発言・質問をした(1学期)
・中間よりも期末の勉強方法や量、時間を工夫して勉強したら、いつもより点数が上がった。授業を集中して理解してテスト勉強の負担を減らせた(2学期)
・勉強量が変わって電気についての知識・思考が深まった。メディアに触れる時間を減らしている(学年末)



【ものづくりキャリアを振り返ってみよう】

・初めは、リングスリーブをあまり上手に圧着することができなかった。けれど、〇〇先生や〇〇先生が教えてくださったやり方を意識したらできるようになった(1学期)
・電気工事工業組合様から来られた時に、屋内配線工事が難しかったが興味を持った。電力の送電・配電の部門に興味を持っている。配線が徐々にできるようになってきている(2学期)
・実習の配線が少し得意になってきた(学年末)



【キャリア・パスポート】

ダウンロードページ

<https://www.matsue-th.ed.jp/introduction/career/>


3年次の目標設定へ



【ものづくりキャリアを振り返るページ】

【ポイント・重視する点】

○基礎的・汎用的能力の視点からなりたい自分の姿をイメージするとともに、学期や学年など各段階における自分の現在を俯瞰しながら、具体的な行動設定をする。

○学校行事や部活動等のほか、工業の学びに特化した振り返りのページを設けることにより、生徒は専門の知識や技術に関してできるようになったことを意識すると共に、将来を見据え、勤労観や職業観の形成に役立てている。

○運用にあたっては年間のホームルーム活動計画に組み込み、全クラスが同時に振り返りの時間を確保できるようにしている。また、ものづくりキャリア・パスポートのファイルに資格・検定試験の合格証書のコピー等も綴じるようにし、生徒の学びの実績を積み重ねることができるようになっている。

【教師の実感】

「ものづくりキャリアパスポート」を参考にして面談をすることにより、生徒へのアドバイスの質が向上した。